

十勝発の新技术アピール 札幌で道内最大級ビジネス展

「北海道 底デカラー」をテーマに開催し、来場者でにぎわうビジネスEXPO（とちか財団のブース）



【札幌】道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO」（実行委主催）が7、8の両日、白石区のアクセスサッポロで開催された。十勝管内からも、とち

ち財団やマテック（帯広市）、土谷特殊農機具製作所（同）など複数の企業・団体が参加。会場は、道内発の新技术や得意分野をPRし、売り込みを図る出展企業の熱気であふれた。

27回目となる今年はものづくりやIT、環境・バイオ関連、大学・研究機関など過去最大の330社・機関が出展した。会場内はテーマ別に5ゾーンに分かれ、ビジネスセミナーやパネルディスカッション、商談会などさまざまな企画が催されている。

北海道宇宙科学技術創成センター（HASTIC）

らと共同出展した大樹町は、多目的航空公園を宇宙機の実験場とする「北海道スペースポート（宇宙港）計画」を特製ロングパネルでPR。イヌリン（食物繊維）をチーズホエーでクリーム状にした「イヌリンクリーム」などの機能性素材や食品14種類を展示したとちか財団は、道の「新技术・新製品開発賞」で食品部門優秀賞を受けた十勝スロウフード（清水町）の商品試食も行い、来場者の注目を集めた。同財団科学技術コーディネーターの中野智さんは「技術の蓄積に手応えを感じている。イヌリン、ペタイン、小豆を3本柱にPRしたい」と話していた。

（犬飼裕一）